



年頭のご挨拶

商業部会長 和田 晋弥

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染拡大の影響は世界を見渡すと、今なお色濃く残り、収束が見通せない様相で、しばらくはウィズコロナとの認識で、感染拡大を最小限に抑えつつ、経済活動を最大限に活発化させていくことを実践していくしかありません。

ビジネス環境が大きく変化している中、「新しい生活様式」により生まれている、新たなニーズに対応して、中長期的にビジネスチャンスを掴むよう、どのように対応していくべきか、日々思いを巡らせています。

商業部会としましても、皆様の事業活動の一助となるよう、引き続き時宜に合った部会活動を展開してまいります。

本年が皆様にとって幸多き年となりますよう祈っております。



情報・サービス業部会視察 (吉乃川酒ミュージアム「醸蔵」)



変化に対応する

工業部会長 小田嶋 壽信

新年明けましておめでとうございます。

昨年誰かが予想していなかった新型コロナウイルスの猛威が世界中を席卷しました。我々の生活環境はもとより経済活動にまで多大な影響がありました。そしてそれは今も続いています。経済活動はサイクルとして成り立っていることを改めて感じています。その様な環境下でも我々は社業に邁進することで、そのサイクルの一翼を担っていかなければなりません。生活様式、経済活動などあらゆる局面での変化が求められています。我々の地元である新潟市も新しい社会に順応した未来を描かなければなりません。工業部会もこの禍の一つの転機とし、新しい形を模索していく所存です。

今後とも会議所会員皆様と共に未来に向けて歩んでまいります。



住みやすさ、拠点性を発信

建設・不動産業部会長 本間 達郎

皆様、新年明けましておめでとうございます。

今年は、コロナ対策を行いながら経済再生を軌道に乗せる重要な年となります。

日本海、信濃川、連峰に囲まれた自然の身近さ、米・酒・ワイン、ブランド肉、魚介類などの食の豊かさとともに、首都圏から新幹線で2時間程、港湾、高速道路、空港の拠点・物流の優位性を備えた新潟市。

大都市圏とは違う「住みやすさと拠点性」を体得してもらう機会の創出など、交流人口、企業・住民を増やす施策を提案していきたいと考えています。

部会員一同、新潟の魅力の発信、交通網の整備、土地の有効活用による新たな街づくりなど地域のさらなる活性化に努めてまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



建設・不動産業部会視察 (菊水酒造)



年頭ご挨拶

金融業部会長 並木 富士雄

新年あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、社会の価値観が大きく変容し、いわゆるニューノーマルに対応する新たな発想が求められる一年となりました。

丑年は「発展の前触れ」を表す年になるといわれています。私ども金融機関といたしましては、ウィズコロナからアフターコロナへの時代を見据えて、金融面での支援のみならず、デジタル技術の活用による生産性向上など、県内企業の皆さまが抱える様々なニーズにお応えすべく多面的な支援に取り組み、来るべき新たな時代においても地域経済のさらなる成長に貢献することを目指してまいります。

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。



佐渡日帰り視察見学会

輸送業界の発展に向けて

輸送業部会長 高橋 哲哉

新年あけましておめでとうございます。
当部会では昨年、MaaS (マース: Mobility as a service) に関するセミナーを開催し、電車やバス及び航空などの移動手段の枠を越えた連携により、人の移動を最適化する仕組みを学びました。この新たな概念は飲食や宿泊の予約・決済なども取り込んで、インフラや観光分野において、今後ますます発展してくることが予想されます。

こうしたデジタル化やITを駆使した輸送の効率化及び生産性向上に関する取組は、コロナ禍での新たな生活様式に対応した物流の在り方にも共通するものがあり、今後も業界最前線のテーマを取り上げて、部会活動を展開して参りますので、本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

2021年の年頭に当たって

観光業部会長 星野 佳人



新年明けましておめでとうございます。
昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け国内外の移動制限により、新潟の観光産業は、かつてない事態に直面しました。

足元では「GoToキャンペーン」の実施により、一部需要回復の兆しが見られたものの、第3波の襲来により再び先行き見通しが厳しい状況となっております。

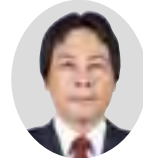
本年は、一刻も早い収束を期待する一方で、外国人観光客の誘客にはしばらく時間がかかるとの認識のもと、国内のお客様・地元のお客様の誘客を図ることに注力する必要があると考えます。

豊富な自然と豊かな文化が溢れる「私たちの地域の良さ」を、今だからこそ再認識すべき機会と捉え、遠くに行かなくとも高い付加価値と満足度をえられる観光資源を掘り起こし、行政からの協力を仰ぎながら県内外に積極的に発信していきたいと思っております。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

年頭に当たって

情報・サービス業部会長 梅津 雅之



あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染拡大によって様変わりした1年であり、情報・サービス業部会の皆様にとっても厳しい年だったと思います。感染防止のため、仕事や交流もテレワークやオンラインでの会合・セミナー等に移行し、デジタル化が進んだものの多くの課題も浮き彫りとなりました。一方で新しい生活様式を取り入れたサービスやビジネスも生まれています。

今年は丑年ですが「我慢」「これから発展する前触れ」と言った意味を持つ年だそうです。今年もセミナー等を通して皆様の役に立つ情報や支援策をお伝えし、皆様にとってウイルス禍を克服しピンチをチャンスに変える希望の年であることを祈念しております。

年頭に当たって

教育福祉医療部会長 渡邊 毅



あけましておめでとうございます。

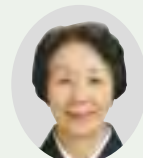
2020年は『コロナ禍』の年として永く記憶されるでしょう。教育・福祉・医療の分野も脅威を受け続けた一年でした。コミュニケーションを核として成立している私たちの仕事はどうあったらいいのか、課題は山積しており今も途方に暮れる思いです。

『ウィズコロナ』。そして少子高齢化が進行している時代。安心・安全を守りながら個々の人間に寄り添うことと同時に、経営としての安定・前進を図ることも私たちは達成しなければなりません。

当部会はこの時代に於ける私たちの仕事・生活のあり方について会員の皆様と共に研鑽を積んでいきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

新年のご挨拶

女性会会長 竹林 昭代



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、コロナ禍により女性会の行事も初夏頃までは思うように進めることができなかったものの、8月に入り新潟県の松本福祉保健部長による新型コロナウイルスへの対応を学ぶ研修会をはじめ、9月には東京銀座のクラブオーナーママの白坂氏による講演会を開催いたしました。また、全国女性会連合会全国大会は初めてのオンライン開催となるなど、往来が困難な時代のなかでも女性会では「できないこと」より「できること」を考えながら過ごした一年となりました。

当女性会は、今年で設立20周年を迎えます。女性ならではの優しさ、細やかさ、柔軟性を活かして、より一層女性が活躍できる社会の形成を目指して一同邁進してまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。